



お茶でインフルエンザ予防

お茶の葉寄贈

J A 菊池茶部会菊陽支部がインフルエンザなどの予防に役立ててもらいたいと11月27日、50^{kg}のお茶の葉を町内の保育園と小中学校に寄贈しました。緑茶に含まれる「カテキン」には、ウイルスの増殖を抑える抗ウイルス作用や毒素を解毒する抗毒素作用があります。虫歯の予防にも有効です。同支部は「お茶うがいはインフルエンザの感染や虫歯の予防になります。楽しくうがいの習慣がついてくれたらうれしいです」と話しました。



▲お茶でうがいをするみどり園の園児

菊陽中が銅賞

第67回全日本合唱コンクール全国大会

第67回全日本合唱コンクール全国大会が10月26日、岩手県民会館(盛岡市)で開催されました。菊陽中合唱同好会はコンクール初挑戦で全国大会に出場し、中学校部門同声合唱の部で銅賞に輝きました。

夢のステージに立った同好会の14人は、感謝の気持ちを込めて歌い、岩手県の復興への祈りを歌で表現。部長の屋直祐李佳さんは「全国大会だけあって、どこもレベルが高く学ぶことが多かった。今後も今以上のものを目指して努力を重ねたい」と話しました。



▲報告に訪れた菊陽中合唱同好会の皆さん

戦争の記憶を伝える

武蔵ヶ丘小学校「スクールミュージアム」

武蔵ヶ丘小学校PTA主催のスクールミュージアムが12月11日、同校の体育館で開催されました。

これは、熊本県立美術館に収蔵してある熊本県出身の版画家・彫刻家の浜田知明さんの作品計18点を鑑賞し、作者の思いや作品の背景を学ぶことが目的。浜田さんの作品は自身の戦争の記憶・体験を表現している貴重なもので、戦争の残酷さや非情さを伝えていきます。児童は作品を真剣に鑑賞する中で、それぞれが戦争と平和について考え、探究していたようでした。



▲浜田知明さんの作品「ボタン(B)」を鑑賞する児童

木に親しんでほしい

木製すべり台の贈呈式

菊池地域木材需要拡大推進協議会(前川収会長)が12月26日、元気の森ラビット保育園(廣田婦美子園長)に菊池地域の木材を使ったすべり台を贈呈しました。同協議会は、小さいころから木に親しみ、木の良さや森林の大切さを感じてもらうことを目的に菊池地域の幼稚園・保育園に木製遊具を寄贈。前川会長が「木は水をきれいにしています。大切にしてください」と話すと園児は元気よく返事をしていました。式後、園児は贈られたすべり台で何度も遊んでいました。



▲木製すべり台で遊ぶラビット保育園の園児



県内で4人 難関を突破

日本サッカー協会「1級審判員認定」

上田隆生さん(中尾)が昨年4月~11月に行われたサッカー1級審判員審査に合格し、1月13日に1級審判員として登録されました。これは3回までしか挑戦できない難しいもので、現在、県内の男性の取得者は上田さんを含め4人。1級の中からJリーグや日本フットボールリーグを担当することができるようになります。上田さんは「選手のために全力を尽くします。夢はJ1担当になること。日ごろからしっかりトレーニングに励み、試合に臨みます」と笑顔で話しました。



▲農業の傍ら1級を取得 ▲上田隆生さん(中央)

学童クラブを統一

「学童クラブきくよう」設立

町内9カ所の学童クラブを统一的に運営する学童クラブきくようの設立総会が1月17日、福祉支援センターで開催されました。

学童クラブきくようの設立に当たっては、昨年6月から学童クラブの保護者や子どもたちの保育をする指導員などを中心に統一化に向けた協議が進められてきました。4月1日から町内の学童クラブが保護者会の運営から学童クラブきくようへ移行され、保護者などの負担軽減が図られることが期待されます。



▲設立総会であいさつをする役員の皆さん

迫力満点! 物語の世界へいざなう

「人形劇ぶっくる」ホワイエ公演

菊陽町図書館ボランティア「人形劇ぶっくる」が12月13日、菊陽町図書館ホールロビーで公演をしました。ぶっくるは本「ブック」と「来る」を掛け合わせたもので、本を通じて多くの人が集まり、交流することを願って名付けられました。人形や小道具、大道具は全てが手作り。この日は初めてロビーで行われ、来場者と距離が近いので、迫力満点。人形劇『三枚のおふだ』や『みんなでうたおう』などがあり、訪れた多くの家族連れが物語の世界を楽しみました。



▲「三枚のおふだ」で鬼婆が巨大化し、驚く和尚さん

鉄砲小路をぶら〜り散策

JR九州ウオーキングと菊陽町スタンプラリー

秋のJR九州ウオーキングと菊陽町スタンプラリーが11月23日、町内で開催されました。町内外から約500人が参加。JR三里木駅を発着とする約8kmのコース中にある4カ所のスタンプポイントで、町に関するクイズに答えながら沿道の景色や地域住民との交流を楽しみました。鉄砲小路まちづくり期成会によるのっぺ汁のもてなしやさんふれあでの抽選会、菊陽町産の野菜や山内本店のみそのプレゼントなどがあり、参加者は「いいお土産になった」と喜んでいました。



▲町指定文化財の蘇古鶴神社を散策する参加者たち

1年の実りと幸せを願う

親子で作ろう!! ミニ門松

生涯学習課主催講座「親子で作ろう!! ミニ門松」が12月23日、中央公民館で開催されました。17組・計46人の親子が参加。門松は正月飾りの一つで、1年の実りと幸せをもたらすために各家を訪れる新年の神様・年神を迎え入れるためのものといわれています。中には初めてのこぎりを扱う子どもたちもいて、悪戦苦闘しながら一生懸命竹を切っていました。参加した親子は協力しながら竹を切り、梅や松、南天を組み合わせ、高さ50cmのミニ門松を作り上げました。



▲親子で協力しながら一生懸命竹を切りました

夢はメジャーリーガー

NPB12球団ジュニアトーナメント

プロ野球のジュニアチームが戦うNPB12球団ジュニアトーナメントが12月28日・29日、ヤフオドーム(福岡市)で行われました。

試合にはソフトバンクのジュニアチームに県内でただ一人選ばれた菊陽西小野球部主将の上野海斗さん(新山)が出場。上野さんは「試合では1点の重さが違った。緊張する場面でも結果を残せるようこれからも練習を頑張りたい。夢はメジャーリーガーになってホームランを打つこと」と真っすぐな瞳で話しました。



▲ホークスジュニアチームに選ばれた上野さん(背番号7)

技術・技能を生かす

JICAボランティア派遣で表敬訪問

JICAボランティア派遣事業でバングラデシュへ出発する前田祐里さん(馬場)が1月5日、町長を表敬訪問しました。前田さんは視覚障害者が通う女子校でパソコンの指導を行います。本事業はアジアやアフリカ、中近東などにボランティアを派遣し、それぞれの技術、技能を生かし、国づくり、人づくりに協力することが目的。前田さんは「視覚障害のある人に対する指導は初めてで不安ですが、皆さんの将来の役に立つように精いっぱい頑張りたい」と話しました。



▲現地の人とは特技の和太鼓で交流したいと話す前田さん(中央左)

初めての門松作り

中部小PTA・PTAOB会長会「門松作り」

菊陽中部小学校のPTAとPTAOB会長会が12月20日、同校の正面玄関前に門松を立てました。

中部小に門松を立てたのは初めて。この日は会員7人と中部小学校の中林義徳校長が参加して制作しました。前田孝一さん(下津久礼)の山で竹を切り出し、玄関前で作業をしました。3本の竹を組み合わせ、梅や松、葉牡丹、南天を植え、高さ約3mの門松が完成しました。参加者は「和気あいあいと楽しくできた。今後も作っていきたい」と笑顔で話しました。



▲中部小の正面玄関前に立派な門松が立ちました



菊陽中学校サッカー部優勝！

菊池・阿蘇地区中学生新人サッカー大会

菊池・阿蘇地区中学生新人サッカー大会が12月23日と1月10日・11日、菊池郡内グラウンドで行われました。阿蘇・菊池郡内の中学校が日ごろの練習の成果を発揮し、各試合とも白熱。菊陽中学校サッカー部員は「優勝」という思いを胸に全員一丸になって頑張りました。決勝では熱戦の末、大津北中学校と延長戦でも決着がつかず両校優勝になりました。昨年に引き続き、菊陽中学校サッカー部は本大会2連覇で、地区代表として1月24日からの県大会へ出場します。



▲2連覇を果たした菊陽中学校サッカー部

一日のスタートはあいさつから

青少年健全育成町民会議によるあいさつ運動

3学期がスタートし菊陽町青少年健全育成町民会議による「早朝のあいさつ運動」が1月13日に菊陽中学校、14日に武蔵ヶ丘中学校で行われました。

生徒は同会議会員と「おはようございます」とあいさつを交わし、気持ちの良い朝のスタートを切ることができました。あいさつはコミュニケーションの輪を広げ、相手の気持ちを豊かにすることができる大切な言葉です。家庭や学校、地域といういろんなところで声に出してあいさつをしましょう。



▲あいさつを交わす町民会議会員と中学生たち

息災祈る

菊陽西小学校「どんどや」

菊陽西小学校PTA主催のどんどやが1月11日、同小学校のグラウンドで行われました。

どんどやとは、竹や木で高く檜やぐらを組んだものに火を付け、その火にあたり餅を焼いて食べたりして、その年の無病息災を祈る伝統行事。午前9時に点火されると、火は天高く燃え上がりました。当日はカレーなどのバザーや民生児童委員による緊急時の炊き出しの実演、羽子板、竹とんぼ、福笑い、こま回しなどの伝承遊びも行われ、訪れた多くの人を楽しみました。



▲天高く燃え上がったどんどやの火にあたる地域の皆さん

力合わせてぺったんぺったん

南小校区世代間交流事業「もちつき大会」

南小校区世代間交流事業「もちつき大会」が12月19日、南部町民センターで行われました。これは、菊陽南小学校の6年生と地域の老人会、青少年育成会、区長会が行っている伝統的交流事業です。

杵を持って、餅をつくことが初めての児童も多く、地域の人々から習いながら餅をついたり丸めたりしました。児童たちは「とても楽しかったです。小学校での良い思い出になりました。皆さんに感謝します」と笑顔で話していました。



▲地域の人々と楽しく餅をつく児童たち